

# 中原消防団 広報誌

第 11 号  
発行平成 23 年 2 月  
題字 中 田 隆

# 翔太



## 年頭にあたり



中原消防団長  
田中 実

平成二十三年の新春を皆様方には、健やかに迎えたい。中原区も人口があつという間に二十万人を超え、さらに川崎市トップの人口増加率を維持しています。

## 新春の御挨拶



中原消防署長  
山口 高 広

平成二十三年の輝かしい新春を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、様々な抱負や期待を胸に、新しい年を迎えられたことと思います。そして皆様にとって、今年が素晴らしい一年になりますことを、まづもって願う次第でございます。

一月七日、晴天の中開催されました、新春恒例の中原地区消防出初式にあたりましては、団員皆様の御協力を頂きまして、心より御

私達の町が発展して行くことは望ましいことですが、都市基盤や防火・防災等の整備が万全に取り組まれて行かなければとても心配です。

昨年、残念なことに中原区内において大きな火災が相次ぎ、尊い生命と財産を失っています。自主防災組織等では毎年のように防災訓練が行われて来ているが、参加率は非常に低いというのが現状のようです。是非多くの区民の皆様

に防

礼申し上げます。今年の出初式は、昨年に引き続き参加して頂きました。県立住吉高等学校のチアリーディング部の活気ある素晴らしい演技の披露、さらには、消防演技に中原警察署のパトロールカーと白バイに参加して頂いたことから、とても緊迫感のある消防演技になる等、誠に素晴らしい式典となりました。

さて、中原消防署では中原消防団と協力して、平成二十一年度から区内の中学生を対象にした災害図上訓練(DIIG)を実施しております。

この災害図上訓練「DIIG」とは、Disaster(災害) Imagination(想像) Game(ゲーム)の略で、英語の動詞「dig」(掘り起こす、

災害訓練等に参加して頂き、条例で定められている「住宅用火災警報器」を早く設置して頂き防火・防災に備えて頂ければと思います。私達消防団員も災害等に備えて多様な訓練等を日夜行

っています。しかし、現在の消防団員の現数は二三名です。区の人口に対する割合は〇・〇〇一%にすぎず。十六年前の阪神淡路大震災の教訓からも判るように、地域住民一人ひとり

## 安心は 防災意識と 地域の輪



平成23年中原地区消防出初式での一斉放水  
(等々力緑地公園催し物広場にて)

がお互いに力を合わせ自分達の町は自分達の力で守るしか無いのです。もっと率先して職場や町会・自治会・学校等で、防災訓練や応急救護訓練等を実施し身に付けて頂きたいと思ひます。私達消防団は、本年も災害の無い明るく住み良い町を目指して団員一丸となり訓練を重ね、防火・防災に尽くして行きます。皆様方のご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

口に占める割合が高く、昼間の大規模災害発生時に即ける防災活動に即戦力として期待の持てる『中学生』に防災意識を高めてもらう事と、次世代の防災リーダーの育成に繋がればと思ひ中学生を対象にしたDIIGを実施することとしました。さらに、今年度からは、この地域振興課とともに、この訓練を町会や自治会の方々にまで対象を広げて行くことを考えておりますので、訓練の指導員として消防団員の更なる御協力をお願いする次第であります。

最後にありますが、中原消防団の皆様がますます御壮健で、中原区の安心安全と発展のため、一層の御活躍を頂きますよう衷心よりお祈りいたしまして年頭の御挨拶といたします。



期待の星  
**新入団員紹介**  
 今年度10名の消防団員が誕生



**上原 修**  
(小杉班)

- ①昭和45年11月23日
- ②会社員
- ③知人からの紹介・活動を知ること防災活動に関心を持ったため。
- ④地域防災活動に精一杯協力させていただきます。



**山本 喜道**

- ①昭和57年9月13日
- ②神職
- ③紹介を頂きましたので入団致しました。
- ④地域社会に少しでも貢献できるよう、努めていきたいと思ひます。



**吉嶺 一人**  
(平間班)

- ①昭和58年4月4日
- ②水道設備業
- ③義父・和泉誠一団員の紹介(転居により幸消防団第三分団より移籍)
- ④少しでも地域の役に立てるように頑張りたいです。



**河野 輝美子** (宮内班)

- ②保育士
- ③主人のすすめ・自分でも何か出来る事があるんじゃないかと思ひました。
- ④出来る事からコツコツ積み上げていきたいと思ひます。女性の団員が増えるよう頑張ります。



**石井 秀吾**  
(宮内班)

- ①昭和48年8月2日
- ②自動車整備業
- ③両親のすすめ・少しでも地域の皆さんに貢献出来ればと思ひ入団しました。
- ④若輩者ですが頑張ります。



**古田 悦子**  
(宮内班)

- ②パート
- ③主人のすすめ・何か挑戦したいと思ひ入団しました。
- ④救命の知識を身に付けたいです。



**渡辺 貴彦** (神地班)

- ①昭和42年2月28日
- ②公務員
- ③父が地元で商売をしていたこともあり、地域の役に立ちたいと思ひました。昨年の祭礼のときに地元の消防団の方に声をかけていただき、入団することになりました。
- ④消防大会は応急救護に出場します。



**横山 邦義** (下小田中班)

- ①昭和46年9月18日
- ②石材業
- ③私が入団を決めたのは父が消防団員(本団広報部長)で、その後ろ姿を見て育ち、自分も消防団員になり地域の役に立てるように成りたいとの気持ちからです。
- ④今年の消防大会に操法競技の一番員で出場します。



**大谷 昌広** (今井班)

- ①昭和42年5月22日
- ②不動産業
- ③祖父・父と代々団員であり、その活動を間近で見たいため。
- ④自分の育った地域のために少しでも役に立てればと思ひます。



**押本 吉司** (市ノ坪班)

- ①昭和58年6月27日
- ②議員秘書
- ③町会の先輩方のすすめ・地元出身なので地域防災のために。
- ④活動を通して世代間の架け橋になれるよう頑張りたいと考えております。



分団カラー ∞ 中原分団は黒・大戸分団は青・住吉分団は緑・玉川分団は赤・丸子分団は黄



横山 邦義と奥様

本団・横山 邦義 広報部長が平成二十二年十一月に藍綬褒章を受章されました。前年は田中 中京子(受章時副団長)が受章されており、中原消防団にとりましても大変喜ばしくお喜び申し上げます。今回は永年、夫の消防団活動を支えてこられた奥様に消防団についての思いを伺いました。

**消防団と共に**

横山 紀子

主人の消防団入団は長女の誕生と同時に期だったと思ひます。制服、制帽が届き、長男と次男が帽子をかぶって遊んでいた姿が思ひ出されます。子供達の成長と消防団の訓練、活動が競争の様でした。その長女も今は一児の母となつています。団員生活がどれ程だったかと

**消防団活動に肉助の功あり**

**団員の家族として**

田中 京子

自営業だったから時間等のやりくりが出来たことも良かったのでは、それより何より分団の人達が皆良い人ばかりと、出動や訓練、大会の後の反省会が楽しみの一つと、続けてこれたのでしよう。私は、家の事だけで精いっぱい、あまりタッチしておりませんでした。ただ、火災の時の連絡係、大火に



田中 中京子の奥様

主人が中原消防団に入団し、早くも三十年が過ぎました。私の父も嘗て消防団員でしたので、入団に対する抵抗はありませんでしたが、活動に関しては、単純に「消火活動の補助的な役割」と考えていました。ところが入団してみますと火事場への出動はもとよ

り毎年の操法大会の訓練、及び自主トレーニング等々、私には考えられない位の熱心なものでした。その努力の結果、分団の好成績も度々。私も若いころは、その様子を見て呆れるばかり、それでも回を重ねる度に、団員の方々の努力が実った時の喜びを拝見し率直に尊敬し、労いの気持ちを持てるようになりました。



記念撮影用の子供用防火服は団長の奥様お手製

う私なりに心がけて行きたいと思ひます。団長に就任し十ヶ月が過ぎ、改めて回りの方々に支えて頂いていることを実感し感謝して



